デジタル版
2025年
11月20日号
Vol. 185

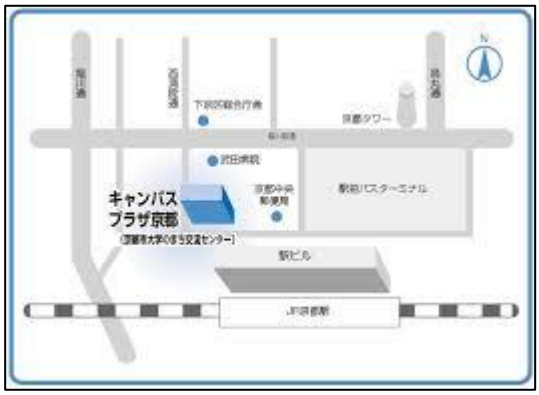
成岡マネジメントオフィス事務所通信

NMO OfficeLetter

京都駅前キャンパスプラザ京都が利用低迷で苦戦

京都駅前の好立地にあるキャンパスプラザ京都（以下キャンパスプラザ）が利用者の低迷に悩んでいる。京都駅から西へ徒歩5分という好立地にも関わらず、利用者の低迷が続き閑古鳥が鳴いている。アクセスは抜群なのに、なぜ利用者が少ないのか。関係者は広く意見を集め、利用率向上に向けてアクションを始めた。

＜解説＞このキャンパスプラザは正式名称は「（京都）市大学のまち交流センター」という。名前の通り大学の街京都を象徴する建物で、京都市が2000年（平成12年）に建設した。土地はJR西日本から購入し、土地代と建物を合わせた総建設費は約95億円だった。地上6階、地下1階。大学の講義や講演会、セミナーに使える会議室やホールなどがある。ホールでは、ケータリングをしてパーティなども可能だ。レンタルの貸し部屋が19室ある。学生なら無料で使えるスペースも設けてある。建設して25年が経過し、ここ近年は貸し部屋の利用が低迷している。2005年度には利用率が70%だったのが、2024年度には48%にまで落ち込んだ。半分の部屋が稼働していない。利用者の割合が、開設当初は学生4割だったのが、最近では学生2割、一般8割と大きく変化している。開設の目的は大学間の連携や学生の交流だった。ところが、環境が大きく様変わりした。コロナパンデミックの影響を受けて、リモートでのコミュニケーションの活用が広まった。また、地下鉄東西線の延伸を受けて、大学が南北より東西に拡がった。もともと、京都市内の大学の立地分布は中心部から東西、北部方面に多い。京都駅近辺にまで移動しなくても、東西線で烏丸御池近辺の方が好立地に変化した。また、民間の貸会議室、京都市の無料のスペースもその後多くできた。また、利用の手続きも面倒で、会議室も結構広いので使い勝手が悪い。オーディオ機器も設置はされてはいるが、利用料の高さ、手続きの煩雑さから、若者が敬遠している。利用申込も、大学関係者は優先されるが、民間企業はその後になる。利用料も民間企業は高い。開設後25年経過し、当初想定の目的から現状は大きく変わった。駅周辺には、低料金の会員制レンタルオフィス、会議室がたくさんできた。利用方法も簡単で、NETで容易に申し込める。今回京都市の担当部署では、広く意見を求め利用促進のためのプランを検討するという。ハコモノを作ったのはいいけれど、その後の社会環境変化に一度作ったハードが対応できない事例は全国に多くある。多額のハードの投資がムダに終わるか。正念場を迎えている。



BUSINESS MANAGEMENT&COORDINATION
株式会社成岡マネジメントオフィス
〒616-8104 京都市右京区太秦下刑部町170
プレサンスロジェ太秦天神川駅前613
TEL:075-366-6611 FAX:075-366-6100 info@nmo.ne.jp

Copyright (C) Naruoka Management Office. All rights reserved.